

「情熱」「誠実」「実践」

—校訓の趣旨—

【情熱】「一つのことを成し遂げる熱意」

“目標を設定し、目標達成のモチベーションを維持し続ける熱意を大切にすること”

【誠実】「正しい考え、正しい発言、正しい行い」

“思い考える事（良心に基づいた判断）、言う事（発言）、する事（行為・行動）の三つが一致すること”

【実践】「自分が成長するための地道な努力」

“設定した目標に向かって、必要な計画を立てて段階的に実行すること”

本校の生徒に期待すること

一点目は、卒業後の社会自立を目指すために、大地に根差した、地道な実践を積み重ねてほしいということです。一人一人が思い描く夢を実現させるための近道はありません。一步一步、地道な実践を積み重ねた者だけが夢に近づくことができます。これから南大沢学園で過ごす日々の中で、ぜひ、夢に向かって、地道に実践を積み重ねてください。皆さんならば、やればできます。ぜひ、そのことをこの学校でしっかりと学んでください。

二点目は、日々、誠実に学校生活に臨んで欲しいということです。誠実とは、真心をもって人や物ごとに対するということです。学校生活はもちろんのこと、社会生活においても、必ず自分以外の人との関係がついて回ります。だから、自分だけが良ければよいという考え方ではなく、皆がお互いのことを尊重するためには、どのようにすべきなのかをこの学校でしっかりと学んでください。人に対する真心は、やがて自分に返ってきます。ぜひ、お願いします。

三点目は、情熱の花を心に咲かせてほしいということです。南大沢学園には、すばらしい先輩がいます。そして、厳しくも温かく皆さんの学校生活を見守ってくれる先生方もいます。安心して、卒業までの3年間、学習や実習、部活動、余暇などで、自分の心を熱くするものを見つけ、そして、それに打ち込んでください。卒業生たちは、一様に言います。「学校で仲間や先生と過ごした3年間は、かけがえないものを自分に与えてくれました。」と。皆さんがどんなことに情熱を傾けることになるのか、楽しみにしています。